

堀場雅夫氏 特別講演



シンポジウムでは、堀場製作所会長堀場雅夫氏による「地域主権国家の創立」をテーマにした特別講演が行われました。様々なご意見や提言のほか、会場の高校生に向けたメッセージもいただきました。

今回は、その内容をお知らせいたします。

■**地域主権国家創立の必要性**

21世紀に日本が一流国家であり続け、世界中の国々から尊敬される国となるには、地域が主体となった「地域主権国家」をつくらねばならない。

地域が経済的に自立独立できるような経済活力を持ち、その地域が活性化して、地域に根付いた

企業を興し、育成して利益を上げ、地域ごとに自活できる仕組みを作る必要がある。

■**地域に根付いた企業の育成**

地域の企業が活性化していくためには、地域に長年ある伝統的な産業、あるいはその地域に根ざした色々な風土、歴史、あるいは文化というものをも市場（マーケット）につないでいくことが重要であり、地域の大学、研究所等が、地域の産業と結びつく（産学官の連携）ことよって、新しい市場価値を作ることが一つの手段として考えられる。

■**自由主義経済、資本主義社会の限界**

300年続いてきた近代西洋文明（自由主義経済、資本主義）、西洋科学技術の進歩に限界が見えており、現在のシステムのままでの経済の活性化と発展は地球環境にとってプラスにはならない。

自由主義経済というのは弱肉強食であり、地球上の貧富の格差が拡大している現状を考える必要がある。貧富の格差によりテロなどの問題が起きていくが、誰も解決策を見いだしていない。

科学技術の進歩は、人間に様々な幸福をもたらしてきたが、その中にも大きな問題が

ある。原子力やクローン技術は、ひとたび使い方を間違えれば大変なことになる。つまり、科学技術の進歩が即人間の幸福とは言われなくなってきた。

これらをどうしていくのか？大きな課題である。

■**日本のあり方**

日本は、21世紀に入り第二の開国が始まっていると考えられる。いくら優れた規格やものを作っても、西洋社会が作ったグローバルスタンダードでなければ通用しない。

世界に通用するには、日本のものが世界標準にならないと駄目である。この現状を理解し、精神力が強く、能力、意気込み、実行力を備えた人間を育てていく必要がある。

■**仕事は楽しく**

日本人は仕事をすると疲れないといけないという考えがある。しかし、本来仕事は、疲れるものではない、疲れるような仕事のやり方をしては駄目である。人は、好きなことをしているのと疲れない。発想を切り替えて、仕事は人生を楽しむためにあるものとして考えて欲しい。

■**若者へのメッセージ**

高校生の皆さんには、自分の将来について考えてもらいたい。

世の中には面白いものがない。世の中には面白いものがない。世の中からは面白くないものがある。その中から自分の好きなことは何かを見極め、好きな仕事、やりたいことを見つけてもらいたい。

■**西条へのメッセージ**

誰か、西条や日本はどうなるか予想はできない。西条や日本の未来は我々がつくるんだというふうな人になって欲しい。

教育者は、子どもたちの能力を見つけて、引き出して伸ばしてもらいたい。そうすることによって世界一流の人材が育つ。

■**今の日本に求められるもの**

本来の人間の能力はすごいものがあるが、限界に挑戦する人はほとんどいない。

世界の頂点に立つためには、思い切り極限に挑むチャレンジ精神が必要である。そして今の日本は、そういった人材を求めている。今は皆に余裕がありすぎる。もう一度自分を見極めてもらいたい。

■**西条へのメッセージ**

何にでも全力を尽くせば必ず素晴らしい未来が開ける。自分というものに自信を持ち、毎日働くこと、生きることが楽しくなれば、そういう人たちの住む町に活気が溢れるようになる。

京都は古い町ながら、世界

最高水準の精密機械工業が発達しており、そのベースは全部、伝統産業から生まれている。その知識や情報をマーケットにつないで近代産業が生まれている。

日本のそれぞれの地域には、必ず伝統的な産業のベースがある。それを地域の大学、研究所が、マーケットの間をつなぐ研究をして、事業化することによって、その地場産業と生み出されるものが発展し、活力が生まれる。生きがいや働きたいを感じながら楽しく人生を送っている人たちによって初めて地域の活力というものが生まれてくる。一人ひとりがここに住んでいることが楽しくて面白くなるのが大切であり、その先に郷土愛が生まれる。

■**自分の住んでいるまちの先人たちが作り育ててくれたものを基にして、新たな産業を創造していくことが、地域主権の基本だと思う。**西条市も水だけでなく素晴らしいものがある。それらを一つ一つベラスにして、活性化できることはたくさんある。

ぜひ、西条で地場産業をますます発展させて、地域主権の基本になるモデルを作っていただきたい。